



# 中山間地域の水田畦畔の草刈り作業を経営評価

— 条件不利地の水田経営コストを明確に —

## 開発の背景・ニーズ

水田の畦畔及び法面管理作業は、水田農業経営の効率化に大きな障害要因となっています。畦畔・法面の態様は、地形の違いにより大きく異なり、中山間地域などの傾斜地では、その表面積の広さと作業能率の低さから、労働と費用の負担が大きくなります。そこで管理作業の大部分を占める草刈りについて、平坦地と中山間地域傾斜地の実態を調査し、経営評価に取り組みました。

## 成果の内容

傾斜地水田における草刈り管理作業時間は平坦地に比べ約4.5倍でした。管理作業にかかる10aあたりのコストも平坦地に比べ、約1万円多くかかる実態が明らかになりました。このことから中山間地域で経営受託による規模拡大を行う場合は、栽培の作業効率、管理コストに加え、畦畔及び法面管理コストを十分考慮する必要性が示されました。

### 草刈管理作業の経営指標



平坦地水田

本地10a当たり  
で比較しました。

傾斜地水田

## 愛知県農業への貢献

本成果は、生産に直結しない費用として統計上把握されていない部分である法面の管理作業を中山間地域傾斜地の条件不利要因として数値化し、経営的に評価することで、営農の判断材料を提供するとともに、中山間地域の農地保全への支援施策の参考となるものです。